

各都道府県協会
 加盟団体
 競技委員長殿
 CC:審判規則委員会

(公財) 日本バレーボール協会
 国内事業本部・国内競技委員会
 委員長 山野上 聖一

『競技要項』補足及び円滑な競技会運営に向けて

平素は本委員会の諸活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成 25 年 3 月に『競技要項』(冊子)を発行致しました。約 4 年間、各種競技会を全国各地で開催してきましたが、競技要項に記載している事項をより明確にする為に、下記の通り一部補足のご説明をさせていただきます。

■競技要項 P60-62 ユニフォーム規程について

【P60 抜粋】

3. 競技者番号

(3) 競技者番号のサイズは、次の通りとする。

6・9人制とも	高校生以上		小・中学生	
	高さ	字幅	高さ	字幅
①シャツ胸部・中央	15cm以上	2cm以上	10cm以上	2cm以上
②シャツ背部・中央	20cm以上		15cm以上	

※ 9 人制の競技者番号については、平成 27 年度より完全実施。

【P61 抜粋】

5. チームネーム

(1) ジャージ(シャツ)の胸部もしくは背部に、JVAに届け出た正式なチームネームまたはチームニックネームのいずれかを付けなければならない。サイズは規定しない。また、チームのシンボル・マーク(社章・校章・略号)も付けてもよい。

(2) ジャージ(シャツ)の袖に(袖が無い場合には背面襟下に)所属する都道府県名を付けてもよい。

語句	解釈・補足
JVAに届け出た正式なチームネーム	MRSに登録している正式名称
チームニックネーム	MRSに登録する欄はありません 正式名称の略称であること
チームのシンボル・マーク	都道府県のマークやスローガンなどについて は不可

【不適切な例】

正式なチームネーム ……品川電機アタッカーズ

チームニックネーム ……T O K Y O →ユニフォーム背部に大きく付けている

※チームニックネームが正式なチームネームと結びつきにくく不適切である。

また、TOKYO=(東京)は都道府県名であるので、袖や背面襟下につけることが原則。なお、都道府県名の大きさについてはチーム名より小さいこと。

チーム名の装飾 ……ユニフォームのチーム名の装飾やイラスト等による飾り付け

【例外】

高校チームの「〇〇学園 △△高等学校」については、胸部または背部に「△△」、また一方に「〇〇学園」という表記は高体連の取り扱いで認められています。

【P62 抜粋】

1 1. アンダーウェア等について

- (1) アンダーウェアはユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはならない。ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から見えてしまうことは故意に見せるものでない限り制限されない。
- (2) 医療を目的としたサポーター類は、プレー上危険ある場合や、プレーに有利に働く場合を除いて、規制されない。
- (3) 明らかに色が違う腰に帯状にまくサポーター・コルセット類はユニフォームの下に着用しなければならない。

アンダーウェア等についての運用は、規定通りに取り扱います。(2013. 7. 23 配信済)

ただし、丸首のアンダーウェアでユニフォームからはみ出していなければ、Vネック等で襟元から見える状況は可としてください。たとえチーム全員が揃っていてもハイネックで襟からはみ出していたり、袖から出ているようなものについては認められません。

【P62 抜粋】

1 2. チーム役員の服装

- (1) チーム役員は、ジャケットを着用するか、チームで統一された服装でなければならない。
- (2) 部長や監督がジャケットを着用し、その他のチーム役員が統一された服装であれば許可される。
- (3) 統一された服装であっても、Tシャツ等の襟の無いものや、短パン、ハーフパンツは許可されない。
- (4) チーム役員の着用する服装には最大5×4cmまたは20cm²のマニファクチャー・ロゴを付けることができる。
- (5) スポンサー広告については、上記8と同等な扱いとする

「JVA 競技会におけるチーム役員の服装は、上記の通り規定していますが、プレイヤー兼任の監督及び公認メーカーについては、次の通りと致します。

① プレイヤー兼任の監督

- ・ベンチでは、記録席に一番近い席に座る。ウォーム・アップ・エリアにいることも許される。
- ・監督マークは、ユニフォームに直接つけるか、着脱しやすいビブス、ポロシャツ、Tシャツ等に必ずつける。(左胸部が望ましいが、見やすい位置であれば特に制限しない)
- ・他のスタッフについては、上記枠内のチーム役員の服装でなければならない。
- ・ユニフォームの上に、ジャケットや統一したスタッフのウェアを着用することももちろん認められる。

② 公認メーカー以外のウェアを着用している場合

- ・ベンチ入りは認めるが、今後は選手同様、公認メーカー製のウェアの着用をお願いする。

■競技要項 P10 参加資格について

【P10 抜粋】

JVA主催全国大会に参加するチームのベンチスタッフも、JVAメンバー登録することが必要となる。スタッフは「選手」または「チームスタッフ」としてMRSにより登録をする。

「選手」として登録しているメンバーはベンチスタッフと選手を兼ねることができるが、「チームスタッフ」として登録した場合、選手としてコート上に立つことはできない。

ベンチスタッフは、部長・トレーナーも含め全員がMRSによる登録が行われており、チーム加入選手一覧に記載されていること。なお、部長は「チームスタッフ」として登録すること。

【補足1】社会人大会の参加資格（2017年度からの取り扱い）について

黒鷲旗、9人制実業団、クラブカップの各大会にチーム及び個人として出場した場合、社会人大会への出場（大会申し込みをした時点で出場とみなす）は認められないが、MRSにチームスタッフとして登録されているベンチスタッフとして出場した場合のみ、社会人大会に別のチームから選手としてもスタッフとしても出場できます。

【補足2】全日本9人制総合の参加資格について

参加資格に制限事項はないので、Vリーグ機構に所属するチームの選手であっても出場することは可能です。ただし、V機構所属の選手は「退団もしくは特別許可がなければVの大会以外には出場できない」とする規定があるので確認が必要となります。

■競技要項 P38 抽選の原則について

(3)トーナメント戦の場合は、同一都道府県から2チーム以上参加しているときは、それらのチームを次のようなゾーンに分ける。

2チームのとき 2分の1ゾーン

3～4チームのとき 4分の1ゾーン

5～8チームのとき 8分の1ゾーン（左：右が平等化するように配慮する。）

9チーム以上のとき 16分の1ゾーン（左：右が平等化するように配慮する。）

5チームのとき、8分の1ゾーンに分けるが、左：右が平等化するように配慮しつつ、4分の1ゾーンに均等に入るように配慮する。

■大会運営について

(1) 気温が高いときの大会運営について

条件をより良くする為に、大会実行委員会等で協議のうえ、特例的に下記運用方法を採用することもできます。

なお採用の場合は、代表者会議等でチーム関係者及び大会関係者に周知を図ってください。

① 給水の為のタイムアウト適用

- ・各セット13点または11点で給水の為のタイムアウトを採用することができる。
- ・時間は30秒から90秒の間を基本とし、会場条件等により設定してください。
- ・戦術的な指導は禁止し、給水、汗を拭くなどの行為に限定する。

- ② 試合間について、余裕をもって長めに取り、館内換気に努める。
- ③ 体育館の空調が使用できる場合はなるべく使用する。
 - ・複数会場で、一部の体育館で空調がない場合でも、空調が使用できる体育館では使用する。悪い条件に合わせる必要はない。
- ④ チーム役員の服装については、規程通り、Tシャツ等の襟のないものや、短パン、ハーフパンツは許可されないが、気温が高く、熱中症等が懸念される場合は、実行委員会の判断により緩和することができる。

(2) 大会中止における大会経費及び宿泊費等の取り扱いについて

- ① 大会経費の取り扱い
 - ・大会経費の負担については、JVA・開催地バレーボール協会・当該加盟団体が協議する。
- ② 交通費・宿泊費の取り扱い（ただし旅行業者を入れている大会については、その旅行業者の約款による）
 - ・交通費・宿泊費については返金しない。

(3) 有資格者の取り扱いについて

- ① 監督・コーチ・マネージャーの中に有資格者がいない場合
 - ・大会に参加（選手だけでゲームを行う）はできるが、部長も含めてすべてのチームスタッフはベンチに入ることにはできない。
- ② 資格を有する選手が監督・コーチ・マネージャーいずれかのスタッフを兼任する場合
 - ・当該選手をベンチスタッフとして事前にエントリーの上、チームスタッフはベンチに入ることができる。
- ③ 試合開始時（トスのとき）に有資格者が不在の場合
 - ・すべてのチームスタッフはベンチに入ることにはできない。もし、試合の途中で有資格者が会場入りした場合、その時点からスタッフ全員がベンチに入ることができる。ただし、監督権の行使は、セット間において監督が記録用紙へサインした後となる。
- ④ 試合途中で有資格者が退席する場合
 - ・残りのスタッフが当該試合に限りベンチに残ることはできるが、退席後の監督権は消滅する。
 - ・例え選手に有資格者がいたとしても、ベンチスタッフ登録していなければ同様である。

(4) チームより棄権の申し出があった場合の措置

- ① グループ戦前に申し出があった場合
 - ・当該チームがかかわる2試合を棄権扱いとして行わず、残りの1試合のみを行うことを基本とする。
- ② トーナメント戦抽選前に申し出があった場合
 - ・トーナメントの最後のシード順(競技要項 P68 参照)の位置を空位とし、予定より1チーム少ないチーム数で抽選を行う。その場合、試合順の変更等について周知を図るようにする。

(5) 6人制コートでの監督制限ラインについて

全国大会等において、テレビ放映や特設コートで行う場合は、正規の取り扱い（破線）とする。それ以外については、状況に応じて実線で引いても構わない。

(6) 9人制ルールの取り扱いの変更について

平成29年度より、ベンチ構成の選手数が現行の12名から15名に増えます。

また、9人制コートにおいても監督制限ラインを設置することとなり、サイドラインから1.5mの

位置で、監督席からエンドラインまでの長さで設置してください。

ベンチの個数は9個を基本とし、ラインについては実線でも破線でも可とします。

選手数増に伴って、W-up エリアも3m×3mを基本（状況に応じて運用）としてください。

また、エンドラインから後方のフリーゾーンの長さが6.5mに変更になっています。

(7) 自然災害等によるチームの遅参が想定される場合の措置について

直ちに没収試合の措置をとるようなことはなく、大会委員長、審判委員長、競技委員長の3者で協議の上、当該チームが少しでも大会に参加できるように考慮してください。（試合順や開始時刻の変更等の工夫）

ただし、代表者会議において参加チームおよび役員に周知し、了解を得てください。

(8) 男女同一大会でのベンチスタッフの取り扱いについて

男女同一大会（大会委員長、審判委員長、競技委員長等の主要役員が単独(同一)の場合）においては、スタッフ（監督、コーチ、マネージャー、トレーナー等）であっても男女両チームに名前を記載することはできません。（ただし部長についてのみ、両チームに名前を記載することを認めます。）

(9) ユニフォーム（ゲームシャツ）のイン、アウトについて

大会を主催する各連盟の規定に準じた運用を基本としてください。

特に定めがない場合は、試合前に審判員がチーム代表者に確認し、チームからの申告に応じて運用してください（チームで統一させる）。ただし、運用方法については代表者会議で事前通告をしてください。

※上記内容については、各委員長との打ち合わせで決定し、大会関係者に周知徹底の上、運用頂きますよう宜しくお願い致します。